Funabashi Municipal Medical Center News

船橋市立医療センターNews No.9

●発行年月日/平成23年7月1日　●編集/船橋市立医療センター広報委員会　●発行責任者/院長　高原　善治
〒273－8588 船橋市金杉1－21－1　☎047－438－3321㈹　http://www.mmc.funabashi.chiba.jp/

大賀蓮（葛飾区水元公園）

災害を受け止めて

船橋市立医療センター院長　高原　善治

3月11日に発生した東日本大震災は、地震、津波による被害と福島原発の事故により、まだまだ復興が進まない状況です。被災地の皆さまに心からお見舞い申し上げるとともに、復興や原発事故に対応していらっしゃる方々に大いに感謝の意を表します。当院では被災地の患者さんの受け入れ、茨城県への看護師の派遣、陸前高田市への医療チームの派遣を行いました。今後も当院で可能な支援を行い、１日も早く以前のような日本にと思っています。

今年度は混乱の中スタートしましたが、中野由紀子副院長、多部田弘士技監、林田豊管理局長が昇格し新体制を固めました。4月に開始したＤＰＣ、７対１看護師配置により、医療の質と経営の向上を図りたいと考えています。また5月には院内売店を新装し、以前にもまして営業時間やサービスでより利用しやすくなるように改善しました。診療面では7月から村野彰行先生をお招きし、歯科口腔外科を開設します。当院は多くの大手術を行っていますが、最近術前の口腔ケアの重要性が学会でも報告されており、術後の肺炎などの合併症の予防のために積極的に取り入れていきたいと思っています。このほか感染性心内膜炎など口腔内の感染が原因となる疾患や口腔内外傷の根治的治療も容易に可能となります。

今年の夏は電力不足が問題となりますが、院内外での節電を行い、また有効な電力の利用を考え、停電などない途切れない医療が行えるように乗り切りたいものです。

目次

院長あいさつ……1
新任者あいさつ／診療科紹介　眼科……2
歯科口腔外科がオープン！……3
「医療被ばく」とは？……4～5
お知らせ……5
被災地派遣ルポ……6
救急医療／職員募集……7
外来担当医師一覧表……8

新任者あいさつ

副院長
（看護部長）
中野　由紀子

船橋市立医療センターでは、看護部門から初めて副院長兼看護部長を拝命しました中野でございます。

東日本大震災により多くの方々の尊い命が失われた事に深い哀悼の意をささげます。

当院は、震災後、３月に筑波大学附属病院大震災復興対策本部に看護師２名を派遣し、近隣の病院の支援を行いました。また、４月と５月の２回にわたり、千葉県の要請により、医師・看護師・薬剤師・事務の方々が、壊滅的な被害を受けた陸前高田市に入り医療救護活動を行いました。被災された地域の皆さまの１日でも早い復興を心より願っております。

平成23年６月より、７対１入院基本料を取得し、急性期病院としての看護体制が整いました。当院の機能である救急医療と高度専門医療の役割を果たすためには、医療者の確保は大きな課題であり経営効率を考えながら将来を見つめ対策をとっていきたいと考えています。医師、看護師等医療に携わる各部門の人々が相互に協力をして連携を図り、地域の皆さまに質の高い医療が提供できるようこれからも努力していきたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

技監
（呼吸器内科）
多部田　弘士

東日本大震災で犠牲になられた皆さまにお悔やみ申し上げます。また、被災された皆さまには一日も早い復興を心より願っています。

私は呼吸器内科を担当していますが、まず心掛けていることは患者さんに常に最新の医療を提供することです。次は、いかに患者さんに満足してもらえるかということです。本当の意味での満足はまさに病気が完治することですが、難治性疾患が多い当科はそれが難しいのが実情です。従って、ここで言う満足とは患者さん自身が全力で病気と戦っていると感じることができ、主治医は十分にその手助けをしてくれたと思ってもらえることでしょう。では、主治医はどうしたらよいかといえば、患者さんの言うことをよく聞いて何を望んでいるかを理解し実践することに尽きます。

以上のことは医療者としては当たり前の様に聞こえますが、実際には思い通りに行かないことがよくあります。特に私は、すぐに楽をしたがる性格であるため、自分を戒めながら患者さんのために働きたいと思っています。

また、この度技監を仰せつかりましたが、病院の発展のために微力を尽くすつもりです。

管理局長
林田　豊

４月１日付け人事異動で総務課長から管理局長に命ぜられました。

はじめに、３月11日に発生した東日本大震災で亡くなられた方々のご冥福と被災地の早期復興をお祈りいたします。

さて、東北地方太平洋沖大地震は、船橋市の沿岸部の若松、日の出、高瀬、潮見地区でも液状化による被害を発生させました。当院もその後の東京電力の計画停電により一時的に検査や診察ができなくなるなどの問題が生じましたが、職員が一丸となって対応し、診療業務を継続してまいりました。

夏場の節電対策など早急に対応しなければならないいくつかの点もあります。

このような状況の中ではありますが、事務局のトップとして鈴木一郎病院局長や高原善治院長を助け、経営の健全化や患者サービスの視点に立った運営に努めていきたいと思っております。

また、市民に信頼される病院となるためには、病院で働く多くの職員が働きやすく、プライドが持てる病院となることも大切なこととであると思っています。そのために職種間の調整を図ることも仕事の一つと考えております。

医療センターの更なる発展のために、微力ながら全力で取り組んでいきますので、よろしくお願いいたします。

診療科紹介

眼　科

副部長
上原　淳太郎

今年４月から眼科に赴任した上原淳太郎と申します。専門は緑内障です。現在当院では白内障手術を主に行っておりますが、眼瞼（がんけん）小手術や局所麻酔での緑内障手術に関しても６月から始めました。５月中旬の時点で、白内障手術は３～４か月待ちとなっています。当院では日帰り手術は行っておらず、月曜日入院で片眼３泊４日、両眼４泊５日を基本としております。緑内障手術の場合も１週間程度の入院が必要となります。他院からご紹介頂いた場合、いずれの場合も術後経過が落ち着いた時点で紹介元へ再び通院して頂いております。また外来に関して、火曜日と水曜日は新患の受け付けは無く予約患者さんのみとなりますのでご注意下さい。外来で網膜剥離（もうまくはくり）や糖尿病網膜症による硝子体出血（しょうしたいしゅっけつ）のような硝子体手術が必要な疾患が見つかった場合、近隣の大学病院や都内の眼科などにご紹介させて頂いております。今後微力ながら皆さんのお役に立てるよう頑張りたいと思います。

7月から

歯科口腔外科がオープン！

歯科口腔外科　　村野　彰行

平成23年7月　船橋市立医療センターに歯科口腔外科を開設することになりました。
歯科口腔外科を担当する村野です。
千葉大学医学部附属病院歯科顎口腔外科や関連病院の歯科口腔外科勤務を経て船橋市立医療センターに勤務することになりました。
小学生まで船橋市で育ったため、とても楽しみにしております。

歯科口腔外科で治療する疾患は

- 口腔外科疾患（抜歯、外傷、歯性感染症、腫瘍、粘膜疾患、奇形、神経疾患、顎関節症）
- 一般歯科診療所では治療困難な症例
- 高齢者や全身的な基礎疾患を有する症例
- 事故などの救急症例　などです。

特に緊急を要する疾患は歯の外傷です。外傷により歯牙が脱臼した場合（外傷により歯が抜けた場合）は必ず歯を持参してなるべく早く当院を受診してください。歯を持参すれば再植して元に戻る可能性がありますが、歯がないと再植することができません。夜間に傷害を受けた時はすぐに連絡して、決して翌日まで放置しないようにすることが大事です。その時は可能であれば水や牛乳につけて乾燥させないようにしてください。歯根膜という組織を保存するため、汚れていても自分で清掃しないでください。

次に緊急を要する疾患は歯髄炎や歯周炎です。虫歯がひどくなると歯髄炎や歯周炎になります。我慢して放置すると、かなりの疼痛があり、鎮痛剤を服用しても、痛みがとれないこともあります。早急に歯の治療が必要となります。無理に我慢せず早めの対応が必要です。

また舌、歯肉、頬粘膜に傷やできものができて、1、2週間くらい経過しても治癒しない場合は受診をおすすめします。良性のものが多いのですが、悪性のものや前癌病変（悪性になる手前のもの）などもありますから、鑑別したほうが安心です。悪性のものであれば発見が遅くなるほど、治癒が困難になります。ずっと我慢しないで早く診察を受けましょう。

その他当院では、手術前や入院中の患者さんのために歯科衛生士が口腔ケアを原則として行います。これは誤嚥性肺炎の予防のために行うものです。特に高齢者の方では嚥下反射、咳反射が弱くなり、食事のときにうまく飲みこむことができず、肺に入ってしまうことや睡眠中に口腔内の細菌とともに唾液を誤嚥してしまい誤嚥性肺炎を起こしやすくなります。全身麻酔の手術をするときには口腔から器具を気管に挿管します。そのときに口腔内の細菌を入れてしまう可能性があるため手術の前に口腔ケアが必要です。口腔内の細菌を減少させるには口腔ケアが有効です。

「医療被ばく」とは？

放射線科　部長　七條　祐治

今般の福島第一原発の事故をうけて放射線に対する関心が高まっています。

医療における放射線の利用の目的と、発がんと胎児への影響を中心に放射線被ばくによる健康影響を簡単に説明します。

Ⅰ．医療において放射線を利用することによって生じる被ばくを医療被ばくといいます。その目的は次の３点に要約されます。

1. X線で体の内部をみること。胸部X線、バリウム検査、CTなど。
2. 放射性薬剤で臓器の機能や形態をみること。甲状腺検査やPETなど。
   放射性薬剤は治療に用いられることもあります。
3. 放射線照射でがんを治療すること。体外や体内、組織内から放射線を照射してがん細胞を死滅させます。X線、電子線に加えて、最近では陽子線や重粒子線が注目されています。

医療被ばくには患者あるいは被験者としての被ばくと、家族などの患者の介護者の被ばくが含まれます。

放射線診療は患者さんにメリットがあるからこそ実施されています。

通常行われているCTなどの放射線診断では、これによって患者さんに放射線障害が生じることはありません。一方がん（悪性腫瘍）に対する放射線治療は、がん細胞を死滅させることが目的ですので、大量の放射線を病巣に照射します。したがって副作用としての様々な症状や皮膚などの障害の発生を完全には防ぐことはできません。がん治療に伴うこれらの障害は予想されるものであり、患者さんはこれを承知したうえで放射線治療を受けていただく必要があります。

患者さんはそれぞれ個別的であり、必要な医療行為を制限しないために、医療被ばくにおいては線量限度は設けられていません。

患者さん個人の放射線防護のために、適用の決定（行為の正当化）と放射線量の最適化を考慮することが医療提供者に求められます。

被ばくにはこの医療被ばくのほかに、“職業被ばく”と“公衆被ばく”があり、職業被ばくの線量限度は100ミリ・シーベルト(mSv)/5年、公衆被ばくの線量限度は1mSv/年です。

放射線の単位については後述します。

Ⅱ．放射線被ばくによる健康影響

放射線の健康影響は視点のおき方によって次のように分類されます。

1. 放射線の影響が誰に現れる可能性があるか。本人か、子孫か。
2. 放射線被ばく後、いつ症状が現れるか。早期か、晩発か。
3. 被ばく線量はどの程度か。確率的影響か、確定的影響か。

図１を参照してください。

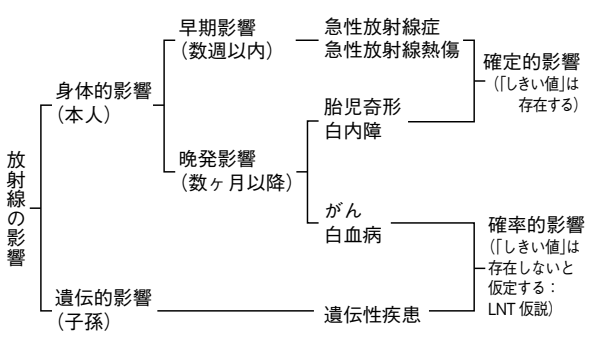


図１　放射線の健康影響

1について：身体的影響と遺伝的影響

被ばくした本人に現れる可能性のある影響を身体的影響、被ばくした本人ではなく子孫の代になって現れる可能性のある影響を遺伝的影響といいます。遺伝的影響は生殖可能年齢、あるいはそれ以前の人が、生殖細胞に放射線を受けた場合のみ問題となる影響です。がんや皮膚障害は身体的影響です。妊娠中の被ばくが原因となる胎児の奇形や精神発達の遅れも身体的影響です。ただし、がんや胎児奇形の原因は放射線だけではありません。

遺伝的影響はヒトでは観察されていません。

2について：早期影響と晩発影響

被ばくから数週以内に現れる影響を早期影響といい、急性放射線症、急性皮膚障害があります。短時間に高線量を被ばくした場合に認められます。晩発影響は被ばく後数か月以降になって現れる影響で、代表的なものはがんの誘発です。

3について：確率的影響と確定的影響

確率的影響は臓器・組織を構成する１つないし少数の細胞に生じた突然変異が原因となって生じます。確定的影響は臓器を構成する多数の細胞が致死的な損傷を受けた場合に発生します。確率的影響の発生には“しきい値”※(注)が存在しないと仮定されていています（直線しきい値なし(Linear non-threshold:LNT)仮説）。これに対して確定的影響の発生には“しきい値”が存在します。がんと遺伝的影響は確率的影響に、それら以外は確定的影響に分類されます。

※(注)“しきい値”とは、放射線の影響が現れるか現れないかの境目を示す値です。しきい値を超えなければ影響は現れません。

通常のX線検査の実効線量は、胸部0.02mSv、腹部1.0mSv、注腸造影7mSv、CTでは頭部2mSv、胸部8mSv、腹部10mSv、骨盤10mSvとした報告があります。CT検査の多くは20mSv以下ですが、組織吸収線量は10-100mGyで、放射線診断の中で最も高い部類に入ります。

白血病、がんの発生は本人に現れる身体的影響かつ確率的影響となります。広島・長崎の原爆被爆者の疫学調査か

らがん死亡の増加が確認されているのは100mSv以上です。100mSv以下の被ばくによる発がんの確実な証明は困難です。

1Svの全身被ばくによるがんの生涯死亡リスクは5%と計算されており、LNT仮説に基づくと100mSVではリスクは0.5%、1mSvでは0.005%となります。

したがって100mSvの被ばくによって生涯に何らかのがんが発生する確率は100～200人に1人と推定されます。一方、被ばくと関係しない発がんの確率は100人中42人と推定されています。

遺伝的影響は、生殖年齢あるいはそれ以前の人の生殖細胞が被ばくした場合にのみ問題となる、子孫に現れる可能性のある確率的影響です。動物実験では認められたものの、ヒトでは観察されていません。

胎児への影響は身体的影響で、かつ“しきい値”のある確定的影響です。奇形の発生と精神発達の遅れなどがあり、胎齢のどの時期にどれくらいの胎児線量を受けたかが重要となります。表1を参照してください。奇形の発生としてヒトで認められているのは小頭症のみです。

「100mGy未満の胎児線量を妊娠中絶の理由にしてはならない」と勧告されています。誤った知識による妊娠中絶を避けなければなりません。

以下に検査ごとの平均的な胎児線量（単位はGy）を述べます。

X線検査では、胸部で0.01mGy未満、腹部で1.4mGy、骨盤で1.1mGy、注腸造影では6.8mGy、CTでは、頭部で0.005mGy未満、胸部で0.06mGy、腹部で8.0mGy、骨盤で25mGyと報告されています。

表１　胎児の放射線被ばくによる影響

影　響	胎　齢	しきい線量(mGy)
死　亡	0～9日(着床前期)	100
奇　形	2～8週(器官形成期)	100
精神発達遅滞	8～25週(胎児期)	100-200

成人に比べて小児の放射線感受性は数倍高く、誘発がんに関して甲状腺がん、白血病、乳がんなどでは小児期の被ばくのほうがリスクが高いとされています。

Ⅲ．放射線の単位

1. Gy（グレイ、吸収線量）：放射線によって、ある物質に与えられたエネルギーを表わします。組織1Kgあたり1J（ジュール）のエネルギーが吸収された場合が1Gyです。吸収線量が同じでも放射線の種類やエネルギーによって生体への影響の程度は異なります。
2. Sv（シーベルト）：等価線量および実効線量を表す単位です。
   1)等価線量とは臓器の吸収線量に放射線の種類（X線、γ線、α線、中性子線など）による荷重係数を乗じた量です。
   2)実効線量とは被ばくした各臓器・組織の臓器等価線量にそれぞれの組織荷重係数を乗じたうえで被ばくしたすべての臓器のそれを加算した量です。全身被ばく相当の線量と解釈することができ、放射線の種類や被ばく形式（内部被ばくか、外部被ばくか、全身被ばくか、部分被ばくか）を問わず、加算したり比較したりできる量です。放射線防護を目的として用いられます。
3. Bq（ベクレル）：放射能の強さを表す単位で、1秒間に1個の原子核が壊変（かいへん）することを1Bqといいます。冒頭で述べた放射性薬剤の投与量や土壌・食物・水などに含まれる放射性物質の量などの単位として用いられます。

以上、現在までに分かっていること、合意が得られていることを述べました。

紙幅の都合で十分ではありませんが、皆様の知識の整理や原発事故関連の情報を解釈する際の一助となれば幸いです。

参考文献
1. 草間朋子：あなたと患者のための放射線防護　Q&A．医療科学社，2005
2. ICRP Publication 87: CTにおける患者線量の管理．日本アイソトープ協会，2004
3. ICRP Publication 84: 妊娠と医療放射線，日本アイソトープ協会，2002
4. BEIR Ⅶ-Phase 2 , 2005

お知らせ

- 5月から売店が新しくなり、営業時間も7時～20時に延長し、ATMも設置されました。焼き立てパンなど品揃えが豊富になりました。
- 6月下旬に全病棟の床頭台が地上波デジタル対応薄型テレビ・冷蔵庫付きのものになりました。（有料）
- 7月頃から金杉方面行きバス停を当院正面ロータリー内に移設するための工事を開始します。工事期間中はご不便をおかけしますがご理解くださいますようお願いします。

新しくなった売店

店内で焼いたパン

使いやすくなった床頭台

移設するバス停

来院される皆さんにはご迷惑をおかけしますが、節電にご協力お願いします。

被災地派遣ルポ

陸前高田市

4月11日から14日の計4日間、千葉県からの要請で当院の医療チームが陸前高田市に災害支援隊として派遣されました。チームメンバーは有馬医師（救命救急センター）、上岡医師（循環器内科）、加藤岡看護師、宇佐美看護師、本田薬剤師、今井事務員、菅原事務員の計7名です。活動場所の小友地区は市内中心部から少し離れたところに位置し、高さ数十メートルの津波により街の大半がのみ込まれ、目前に広がる瓦礫の山、車や船が無造作にひっくり返っている光景は想像をはるかに超えるものでした。活動期間中、メンバー皆が常に張りつめた表情でしたが、被災者の復興のために力を合わせできる限りの支援活動を行ってきました。

●有馬　孝博（救命救急センター医師）

かろうじて津波被害を免れた保育園の職員室を仮設診療所とし、1日40～60人前後の患者を診察しました。「飲んでいた薬がなくなった、流された」「めまいがする」「よく眠れない」という訴えが大半を占め、時には「全部流されちゃった、息子も」と涙ながらに語られ、言葉に詰まるようなこともありました。肩が凝って大変という訴えには、まず湿布を処方する前に肩を揉んでゆっくりと身の上話を聞くことに努めました。地域の医療ネットワークが再び機能するまでに相当の時間がかかり、長期的な支援活動が必要になります。被災地域の一刻も早い復興を祈りつつ、今後も支援活動を継続していきたいと思います。

●加藤岡　美紀／宇佐美　亮（看護部）

岩手県の中でも最も被害が甚大だといわれる災害医療派遣のため、陸前高田市小友町の仮診療所に行ってきました。小友地区で唯一の診療所は津波で流されてしまい全壊してしまいました。目の前には、海と瓦礫があり津波の爪痕が色濃く残っていました。私達は、自宅避難者や避難所から来ている患者さんの対応をしました。余震が続く中で、めまいや不眠を訴える患者さんが沢山いました。震災から一か月、気丈にふるまう患者さんにこそ精神的フォローの必要性を感じました。また、現地では瓦礫の撤去に伴うけがや、長期間の避難所生活での感染症の危険が潜んでいます。その傍らで、3日間で何もなかった道路に電柱が立ち、仮設住宅の建設が続々と進み、東北の方々の「復興」の力を感じました。

●本田　聡（薬剤部）

震災1ヶ月後の陸前高田市。そこで見たものは遥か遠くまで瓦礫で覆われた土地でした。我々が派遣されたのは地元保育所内の仮設診療所。避難所からもたくさんの患者さんがやって来ます。患者の大半は高血圧・糖尿病等の慢性疾患の人達で、その中の多くの人が津波で薬を失っていました。ただ、ここはあくまで仮設の診療所。すべてを揃えることなどできるはずもなく、医師も限られた種類の薬しか処方できませんでした。せっかく来た患者さんには申し訳なかったと思っています。震災約2ヶ月後、移転した仮設診療所前には薬局が開設したそうです。今後、医薬品不足で困ることはないでしょう。被災地域がゆっくりですが確実に復興しているのを感じています。

5月9日から12日の計4日間、千葉県から再度の要請があり、当院の医療チーム第二陣が陸前高田市に派遣されました。チームは黒岩医師（循環器内科）、近藤看護師、市橋事務員、佐瀬事務員の計4名で編成され、第一陣と同様に仮設診療所において診療を行いました。

※写真は派遣された職員が現地で撮影したものです。

茨城県

その他、3月25日から3月31日までの計7日間、筑波大学附属病院からの要請で、当院から神尾看護師と市川看護師の2名を茨城県北部の被災地医療機関に派遣しました。

第６回

救急医療

救急医療における小児科

小児科部長　佐藤　純一

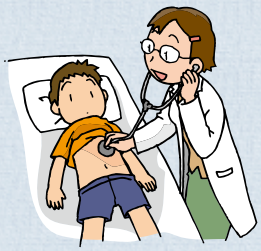
小児科では年間に約1200人の入院患者さんを受け入れています。そのほとんどが、かかりつけの先生からの紹介か救急外来からの入院です。多い疾患は気管支ぜんそく、肺炎・気管支炎、胃腸炎、熱性けいれん、川崎病などの急性疾患です。その他、急性脳症・髄膜炎（ずいまくえん）や窒息など、救命処置や集中治療が必要な患者さんの受け入れも行っています。

夜間に救急を受診される患者さんの中で、小児は多くの割合を占めています。安心して子育てが出来るように、船橋市では、医師会と協力して365日救急患者さんが診られるような体制作りをしています。まずは船橋市夜間休日急病診療所で受診していただき、重症で検査や入院が必要な時、緊急で治療が必要な時には当院を含めた市内の当番病院で（輪番制）治療を行うようになっています。分担することにより、病院では重症患者の治療に専念でき、救急車の受け入れも迅速に行えるようになっています。

当院には新生児科は無く、NICU（新生児集中治療室）もありません。しかし、当院の産婦人科がリスクの高い分娩を扱っているため、出生した新生児に異常を認めた場合には、軽症であれば小児科で治療を行い、必要があればNICUのある病院へ転院させるなどの新生児の対応も出来る限りしています。

その他、一般診療以外に、小児循環器・神経・腎臓の特殊外来も行っています（予約制です）。（裏面参照）

小児科では、現在９人のスタッフで診療に当たっていますが、小児科医不足が言われる中、今後も小児科医の確保に努め、体制を維持していきたいと考えています。



職員募集

看護師（正規・パート）募集

平成24年4月1日採用
平成23年度中途採用

救急医療、がん医療、
地域医療に発展的に
がんばっている病院です。
一緒に働きませんか。

●資　格／看護師免許をお持ちの方又は、取得見込の方
●募　集／看護師（正規・パート）
●休　日／４週８休制（パート職員の場合は、勤務日数の相談に応じます。）
※看護職を対象とした病院説明会を開催しています。
　看護部までご連絡ください。

平成23年8月20日
試験開催予定

詳細は当院ホームページをご覧いただくか、総務課庶務班までお問い合わせください。

公開医療講座

第７回　「成人喘息の診断から治療までー喘鳴（ぜんめい）・咳・痰・呼吸苦のある方へー」

日時：７月２０日（水）　午後２時４５分～３時４５分
講師：多部田弘士（呼吸器内科）
会場：市民文化創造館（きららホール）
定員：当日先着２００人
費用：無料
問い合わせ：医事課

ぜひご参加ください

船橋市立医療センター　　電話番号 047-438-3321㈹

※この「医療センター News」のバックナンバーは当院ホームページでご覧いただけます。

外来担当医師一覧表

平成23年7月1日現在

		月	火	水	木	金	備考
内科	新患	井上　将法	前川　祐子	海老沢里依子	小澤　　俊	〔交替医〕	※㈫の水本、㈬の安藤、㈭の関、海老沢、㈮の小林は予約患者のみ
	呼吸器	中村祐之・安田直史	徳田敦子・中村純	多部田弘士・安田直史	中村祐之・中村純	多部田弘士・徳田敦子	
	消化器	水本　英明	水本英明・関厚佳	安藤健・小林照宗	水本英明・関厚佳	小林照宗・安藤健	
	代謝	岩岡　秀明	海老沢里依子	鶴岡　　明	海老沢里依子	岩岡　秀明	
心臓血管センター	循環器内科 予約	杉岡　充爾 稲垣　雅行	福澤　　茂 沖野　晋一	前川　潤平 稲垣　雅行	杉岡　充爾 市川壮一郎	福澤　　茂 池田　篤史	心臓血管外科の手術の相談は、循環器内科でも応じます
	循環器内科 新患	前川　祐子	市川壮一郎	沖野　晋一	池田　篤史	前川　潤平	
	心臓血管外科	〔手術日〕	高原善治・茂木健司	〔手術日〕		〔手術日〕	午後1時30分から　※第1・3・5 高原　※第2・4　茂木
緩和ケア内科			野本　靖史	野本　靖史	野本　靖史	野本　靖史	午前10:30～12:30　予約患者のみ
精神科		宇田川雅彦	宇田川雅彦 三根（みね）　若菜	宇田川雅彦	宇田川雅彦	宇田川雅彦 赤澤　文代	新患は事前予約が必要
小児科		中村　公則 木谷　　豊	佐藤　純一 伊賀　裕子	丹羽　淳子 小林　弘信	木谷　　豊 吉田　未識	伊賀　裕子 坂井　美穂	
外科		丸山　尚嗣 唐司　則之 宮崎　彰成 〔交替医〕	渡辺　義二 佐藤やよい 山本　悠司 〔交替医〕 〔手術日〕	唐司　則之 丸山　尚嗣 松崎　弘志 〔交替医〕 〔手術日〕	田中　　元 齋藤　洋茂 〔交替医〕 〔手術日〕	田中　　元 松崎　弘志 宮崎　彰成 〔交替医〕	
整形外科		〔交替医〕 〔手術日〕	池之上純男 高瀬　　完 〔交替医〕	三村　雅也 鮫田　寛明 新保　　純	〔交替医〕 〔手術日〕 芝山　昌貴	〔交替医〕 〔手術日〕	予約のない患者は㈪・㈭・㈮
形成外科		〔手術日〕	薬丸　洋秋	薬丸　洋秋	〔手術日〕	岡田　宇広	
脳神経外科		唐澤　秀治 〔交替医〕	三ツ橋茂雄 唐澤　秀治 〔手術日〕	畑山　和己 根本　文夫 唐澤　秀治	唐澤　秀治 安間　芳秀 〔手術日〕	内藤　博道 唐澤　秀治	
呼吸器外科		内田　　修 一ノ瀬修二	〔手術日〕	内田　　修 一ノ瀬修二	木下　孔明 〔交替医〕	〔手術日〕	㈭は内田・一ノ瀬が交替
皮膚科		宮川　健彦 若林正一郎	宮川　健彦 若林正一郎	〔手術日〕	宮川　健彦 若林正一郎	〔交替医〕	予約のない患者は㈪・㈫・㈭
泌尿器科		武田　英男 〔手術日〕	佐藤　信夫 滝澤　一晴	〔交替医〕 〔手術日〕	佐藤　信夫 宮本　憲生	佐藤　信夫 〔手術日〕	
産婦人科		鈴木　康伸 斉藤　俊雄	森竹　哲也 吉原ちさと 〔手術日〕	斉藤　俊雄 佐川　泰一 〔手術日〕	鈴木　康伸 林　　敏	林　　敏 大淵　　紫 〔手術日〕	
眼科		上原　七生 谷口　有子	松枝　美文 〔手術日〕	松枝　美文 〔手術日〕	上原　七生 上原淳太郎	谷口　有子 上原淳太郎	予約のない患者は㈪・㈭・㈮
耳鼻いんこう科		〔手術日〕	伊原　史英 大塚雄一郎	伊原　史英 大塚雄一郎	〔交替医〕 派遣医師 〔手術日〕	伊原　史英 大塚雄一郎	
放射線科		青柳　　裕			原　　竜介	黒崎　弘正	新患は事前予約が必要
麻酔科		〔交替医〕	〔交替医〕	〔交替医〕	〔交替医〕	〔交替医〕	午前9:30～11:30　予約患者のみ
歯科口腔外科		村野　彰行	村野　彰行	村野　彰行	村野　彰行	村野　彰行	8月1日より開始 紹介患者のみ
特殊外来	女性専用（内科）	大淵　　紫		古池　織恵			予約患者のみ
	腎臓内科（内科）		〔交替医〕				午後1:30～　予約患者のみ
	神経内科（内科）			澤井　　摂			午後1:00～　予約患者のみ
	ステントグラフト外来（心外）		桜井　　学				午後1:30～
	ペースメーカー外来			稲垣　雅行			午後1:00～
	小児循環器（小児）	佐藤純一・〔交替医〕	松本　歩美	佐藤　純一			午後　予約患者のみ　㈫は第2・4
	小児神経（小児）				林北見・牧野道子		午後　予約患者のみ　月1回
	小児腎臓（小児）				秋岡　祐子		午後　予約患者のみ　月2回
	小児外科（外科）				齋藤　　武		
	脳神経内科（脳神経外科）			横田隆徳（3ヶ月に1回）		橋本　祐二	午後1:30～　予約患者のみ
	メモリークリニック（脳神経外科）		唐澤　秀治		唐澤　秀治		
	膀胱外来（泌尿器科）				北村　　温		第3木曜日の午後

担当医師は、状況により変更することがありますので、ご了承ください。